

ピロウドマイマイ *Nipponochloritis oscitans* (Martens)

【選定理由】

ピロウドマイマイ類は特徴が乏しく分類が難しいため、これまで種名が混乱していた。近年、中部地方に分布するピロウドマイマイ類の種の再検討が進み、愛知県での各種の分布の概要も明らかになった(早瀬・多田, 2005; 早瀬・多田, 2008; 木村, 2014)。ピロウドマイマイは愛知県内に広く分布するものの、生息地は環境が保全された自然林や社寺林に限定され、生息個体数も少ない。また、本種が生息できる森林環境は、開発などにより明らかに減少しており、結果として、生息地及び個体数とも減少傾向にあるため、将来的に絶滅の危険性を考慮すべき種と評価された。

【形態】

殻は本属のなかでは中～大形に属し、主に、殻長 10 mm、殻径 20 mm 程度であるが、小形個体は殻径 15 mm 程度にとどまり、大形個体は殻径 20 mm を越え主に東三河山地等で確認される。螺塔は低くほぼ平らで、殻全体はやや丸みを帯びる。殻皮毛は、個体群により低密度の場合(ケハダピロウドマイマイとされる個体)も稀に認められるが、県下の個体は主に高密度である。臍孔は、十分に成長した個体では完全に閉じる。軟体部背面は淡黒色で、臍面付近は淡く、灰色がかった紫褐色である。生殖器官では雄性器官の鞭状器がきわめて小さく短い突起程度となる特徴を有する。

【分布の概要】

【県内の分布】

愛知県内では東三河山地から豊川市、豊橋市、岡崎市、蒲郡市、瀬戸市の丘陵地まで比較的広く分布する。近年、名古屋市内でも生息が確認された(川瀬(監修), 2013)。

【世界および国内の分布】

日本固有種である。東北地方から中部・近畿地方にかけて広く分布し、一部、中国地方や四国のごく一部まで分布が確認される(早瀬・他, 2015)。

【生息地の環境／生態的特性】

丘陵部から山地にかけての湿度が保たれた自然林もしくは社寺林内の、主に朽ち木や瓦などが積み重なった下面に潜んでいる。春から秋の降雨後には、陸産貝類の多くは林床上を匍匐するが、本種は日中に地表には殆ど現れない。主に分解の進んだ落葉を摂食すると考えられるが、秋にはキノコ類を食べる個体が確認される例も多い。

【現在の生息状況／減少の要因】

県下の良好な森林環境に広く確認される。減少の要因は、近年の夏季の高温化に伴う森林の乾燥化、開発による生息環境の消失などが考えられる。自然林の植生が伐採され乾燥化が進行し、朽木などの隠れ場所が整備され、取り払われると、生息できなくなる。他に、シイタケ栽培のホダ木や瓦といった廃材の捨て場など里山的な環境の減少も本種の減少の一因と考えられる。

【保全上の留意点】

自然林、社寺林を保全すること、林内の倒木や朽ち木等を取り払わないことが重要である。多くの自然林、社寺林では、竹類が照葉樹林へ侵入し範囲を拡大しているため、竹の適正な伐採を行って、森林を保全する必要もある。

【特記事項】

早瀬・多田(2005)は、愛知県内のピロウドマイマイ類を、ピロウドマイマイ、ケハダピロウドマイマイ、ミニピロウドマイマイの3種とした。ただし、最近の見解に従えば、この3種はいずれもピロウドマイマイ種群に包括される(早瀬・他, 2016)。なお、過去の文献記録に散見される愛知県内でのヒメピロウドマイマイ、キヌピロウドマイマイ2種の分布については、いずれも解剖結果より支持されず、ピロウドマイマイの誤同定である。

また、川瀬(2015)は、名古屋市の個体をピロウドマイマイ属の一種として扱うが、その理由をDNA解析により複数種が含まれるためとしている。しかし、分布域を東北地方から四国までの広域としていることは全く矛盾しており、名古屋市の個体も同種(ピロウドマイマイ)になると考えられる。本州に広域分布する種群が複数の地域個体群の集合体により構成されることは当然であり、形態的に全く識別できない無数の個体群を全て種レベルの分化とするのであれば、国内全ての同水準で分化する各個体群について、その分類学的特徴の記載を必要とする。現時点でそれが行われていない以上は、名古屋市の個体群を別種に位置付ける根拠は全くなく、現時点ではピロウドマイマイ種群として本種の表記するのが妥当と考えられる。

【引用文献】

- 早瀬善正・木村昭一・河辺訓受・湊 宏, 2016. 震災後の宮城県北部沿岸域で確認された陸産および淡水産貝類, ちりぼたん, 46 (1-2): 2-62.
早瀬善正・多田 昭, 2005. 愛知県産のピロウドマイマイ属について, かきつばた, (31): 8-19.
早瀬善正・多田 昭, 2008. 中部地方に分布するピロウドマイマイ属, かきつばた, (33): 17-211.
川瀬基弘(監修), 2013. なごや生きもの一斉調査 2012・陸貝編 - なごやで探そう! カタツムリ - 報告書, 29 pp. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
川瀬基弘, 2015. ピロウドマイマイ属の一種, p. 433, in: 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課(編), 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック なごや 2015 - 動物編 -, 504 pp. 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 名古屋.
木村昭一, 2014. ピロウドマイマイ, p.325, in: 岡崎市(編), 岡崎市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックおかさぎ 2014, 362 pp. 岡崎市, 岡崎.

【関連文献】

- 天野善徒, 1966. 愛知県の陸貝相, 69-82.+2pls. in: 東海高等学校教育文化研究所(編), 研究紀要 第4集, 東海高等学校教育文化研究所, 名古屋.
東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, 343pp. 保育社, 大阪.
木村昭一・中根吉夫, 1996. 第5章 軟体動物, pp.119-126. in: 稲武町史 - 自然 資料編, 稲武町教育委員会, 稲武町.
増田 修・波部忠重, 1989. 静岡県陸産淡水産貝類相, 74pp. 東海大学自然史博物館.
野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類, pp.23-40. in: 佐藤正孝・安藤 尚(編), 愛知の動物, 325 pp. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.
山田栄蔵, 1991. 岡崎市内の陸産貝類について, かきつばた, (17): 5-7.

(早瀬善正・木村昭一)



岡崎市茅原沢, 2010年11月3日, 木村昭一採集